

平成 29 年度
金沢大学ステークホルダー協議会
実施報告書

平成 29 年 7 月
国立大学法人金沢大学

概 要

日 時：平成 29 年 7 月 8 日（土） 16：00～18：40

会 場：本多の森会議室〔金沢市石引 4-17-1〕

協議会：第一会議室（1F）、交流会：第三会議室（2F）

プログラム：

16:00 開会
16:03 挨拶・近況報告
16:25 意見交換
17:55 交流会

出席者数：150 名

【内訳】

学外：75 名

卒業生 6 名，高等学校 5 名，自治体 3 名，
企業等 31 名，地域 21 名，保護者 3 名，
元事務職員 3 名，報道記者 2 名，
経営協議会委員 1 名

学内：45 名

学生 22 名，教職員 23 名

学内列席者：30 名

ステークホルダーのご意見

企業関係者

- ①平成30年度の理工学域の改組について、特にフロンティア工学類、生命工学類の狙いは何か？
- ②G7において日本の生産性は低下しており、アメリカのIoTの推進などのように、日本も改革を進めないといけない。金沢大学にも可視化を進めIoTを中心とした改革をお願いしたい。
- ③企業家育成セミナーやいしかわ未来アカデミーに参画し、起業支援を行っている。金沢大学のこれまでの学生による起業数や今後の支援方針について伺いたい。
- ④これまで受け入れた留学生の中に覇気がない学生もいる。大学としてケアをお願いしたい。

金沢大学の回答

- ①フロンティア工学類は、ロボット・自動制御・AIなど、これからの社会の担い手となる新しい分野にしたい。地球社会基盤学類は、土木系だけでなく地球基盤の視点も併せた分野にする。生命理工学類は、育てる漁業の人材育成を目指しており、能登小木地区に新キャンパスを構想中。さらに、人社系の観光学コースは、北陸の文化資源を活用した起業を学ぶもの。このように金沢の特色を生かした改革を進めている。
- ②新しい産業がこれからの日本を支えると理解するが、運営費交付金（国立大の予算）は法人化後削減される一方で競争的資金に比重がシフトし、民間資金の活用を求められている。産学の関係を見直すとともに連携を強化し、社会実装により力を入れて、社会に役立つ技術者を育てたい。
- ③特許・知的財産によって起業機会が増える仕掛けを作っているが、学生には失敗の経験もさせたいと思っているので、もう少し長い目で見ていただきたい。石川県内の企業紹介を目的に紹介DVDの視聴やインターンシップを進めている。学生を対象とした企業塾「いしかわ未来アカデミー」では積極的な学生が多く、活動も活発である。
- ④状況を確認して対応したい。

高校関係

生徒にもっと人間くさい、課題解決能力を身につけさせるためアクティブラーニング等を導入した教育を行っているが、“勉強はつらいもの”と感じる生徒が多い。高校の教育は大学入試内容に左右されるところがあり、社会で役立つ意欲のある生徒を育てるためにも、大学入試で人間味のあるところを見てもらいたい。そのことで高校教育も変わると思う。入試改革の検討状況は？

金沢大学の回答

点数主義にも合理的理由があり、たくさんの受験生を効率よく客観的に評価できる。入試センターの改革にも対応しながら、学力をある程度確保した上で、高校で何を学んできたか、今後何をしたいかをみる入試を検討したい。具体的には、平成30年度に文系一括・理系一括入試を導入するが、平成32年度頃からはKUGS特別入試（学力検査に加え、高大接続プログラムにより人間性を評価する入試）と超然特別入試（一芸に秀でた学生を選考する入試）を検討している。高校側にも説明しながら進めていく。

国際関係

留学経験はとても貴重。トビタテ!留学 JAPAN など良い事業はあるが、金沢大学の枠を確保しても、学生が海外に出たがらない傾向にある。積極的にチャレンジする方策を検討いただきたい。

金沢大学の回答

留学する学生は増えている。1週間程度のプログラムや協定校への派遣などチャレンジする機会を増やしている。夏休み中に経験できるプログラムも準備中である。また、英語力向上のため英語による授業を増やしており、その授業件数は学年が進むごとに多くしている。

地域関係

角間の里山の保全を行っているが、荒廃がひどいので、里山整備を金沢大学マスタープランに入れて欲しい。また、里山の整備活動を応援してくれる企業も増えている。CSR事業として、里山保全・再生を企業に協力依頼してはどうか。大学はどのように考えているか？

※CSRとはcorporate social responsibilityの略称「企業の社会的責任」

金沢大学の回答

角間の里山は、草刈り等で学生を鍛える教育活動の一環として活用しており、里山の保全については、金沢大学マスタープランに掲載してある。また、CSR事業についても企業と連携できればよいと考えている。

卒業生関係

①医学教育の2023年問題（国際的な評価基準による認証の必須化）に対し日本ではその評価を担う日本医学教育評価機構が新設され、その仕組みができた。今後の医学教育はその認証評価の受審が必須で、そのためのカリキュラム改定が必要となるが、金沢大学の対応状況はどうか？

②臨床中核病院の承認を受けることで、より先端的な臨床研究や治験が行えるようになるが、現在承認を受けている機関は11機関（旧六では千葉、岡山）のみ。本学の対応状況はどうか？

③北陸臨床研究推進機構は実績が全くないので、リーダーシップを発揮して頑張ってもらいたい。

④第3類型を選択し世界に伍していくためには、全学挙げて頑張る一方、優秀な研究者や熱心な教育者の確保も重要。学内からは限界があり、学外の優秀な人材を採る仕組みが必要だと思う。

⑤金沢大学はステークホルダーに何を求めるか、何を期待するのか？

金沢大学の回答

①2年後に臨床実習を見直し、診療科毎に実習を行うカリキュラムとするよう検討している。また、4年後には国際基準に合致した学生を送り出せるよう準備を進めている。

②申請要件中の能力実績については、臨床研究の実施件数は揃っているが論文数は現在調整中である。今年度中に申請したいと考えている。

③今度に入り、機構を構成する5大学に出向き、協力依頼を行った。

④優秀な人材の確保については、分野にもよるが、教員人事は国際公募を原則とし、組織的にチェックしている。英語の授業ができることも採用要件にしている。もちろん、研究環境の整備も重要である。また、アクティブラーニングなどの教育力向上の取組も行っている。

⑤ステークホルダーのみなさんの意見を伺い、活性化していきたい。国公立大学が協力して、地域の活性化に繋げることが何かできないか？ということも考えている。

学生

①研究室の職員から、宝町の駐車スペースが足りなくて困っているとの話を聞く。駐車場の拡大は難しいと思うが、今後、新しい立体駐車場を作るなど改善の予定はあるか？

②先魁宿舎入居者だが、今年できた北溟宿舎とも連携した運営が求められている。ただ、北溟は留学生 1 人で住んでいるユニットがあるなど日本人学生が足りておらず、先魁と北溟の間にある共通スペースの管理もきちんとできていない。運営に関して大学はどの範囲携わるのか？

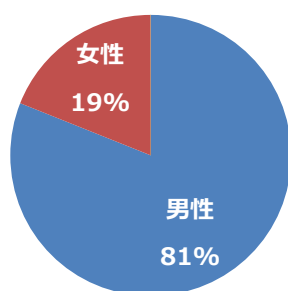
金沢大学の回答

①教職員用立体駐車場の増設予定はないが、現在でも立体駐車場の上の方は空いている。近いところに停めたがるところにも原因がある。状況を確認して、改善できるところは改善したい。

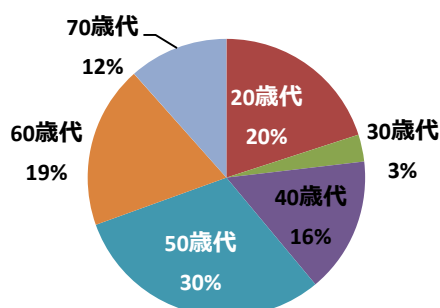
②北溟は 10 月までに入居が整う見込みである。管理体制は、ハード面は大学で、ソフト面は学生主体で行うこととしているが、困ることがあれば、その都度担当事務に相談して欲しい。

アンケート結果 回収件数〔回収率〕：96 件〔88%〕

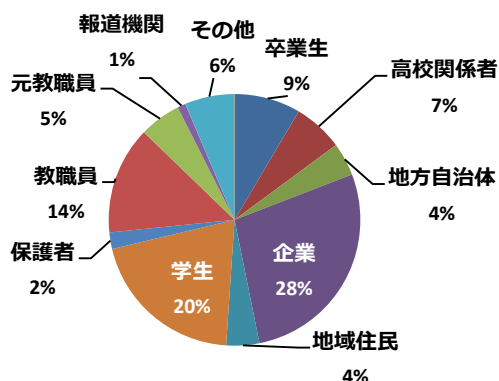
【1】性別



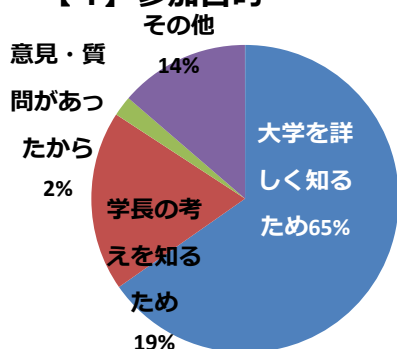
【2】年齢



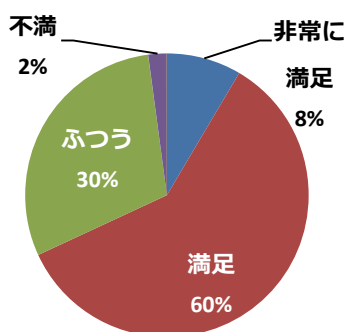
【3】大学との関係区分



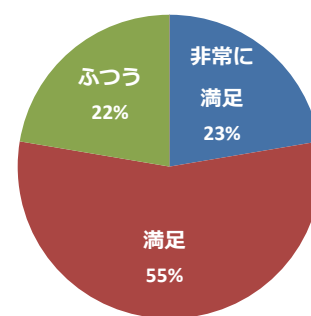
【4】参加目的



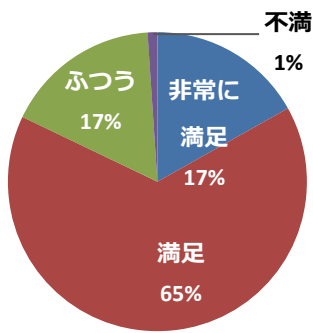
【5】近況報告について



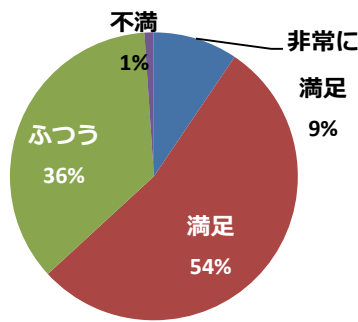
【6】配付資料について



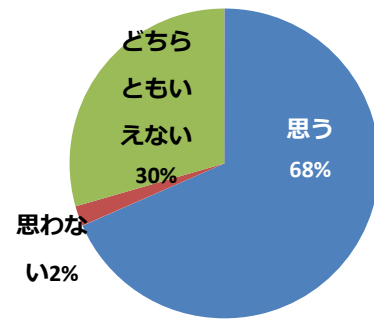
【7】質問への対応について



【8】進行について



【9】次回の参加希望について



【10】ステークホルダー協議会についての主な意見

- ・今年で3年目ですが、参加して大学の情報がよく分かり、大変良い取り組みだと思えます。
- ・地域住民、自治体、行政、企業、学生、教育関係等幅広く金沢大学とこの地域の現在と将来、学生の成長について考える場としてとても有意義だと思えます。引き続き企画してもらえればと思います。地域に根差した身近な大学としてとても大切だと思えます。
- ・地域連携あつての大学であることから、本協議会が有効に機能することを期待する。
- ・学生の立場から質問、意見を出せるような雰囲気ではないような感じを受けました。
- ・学長等と直接質疑応答できる場であり、継続して実施をお願いしたいと考えます。
- ・大学側も少し商売っ気を持つべき。国等の補助金をあてにせず自力で挑戦していただきたい。
- ・ステークホルダーとして重要なのは、やはり学生だと思いますので学生の声をもう少し聞ければと感じました。また、留学生の方々の声も聞ければと思います。
- ・最近の近況報告にももう少し時間を割いて詳しく説明してほしい。その為に全体の時間が延びても構わないと思う。
- ・会場はもう少し街中か駅周辺にならないか。
- ・附属病院長の出席をお願いしたい。病院は大学附属病院としての位置づけ。病院の経営・運営に対するステークホルダー（患者サイド）の意見を聞いてもらいたい。

【11】金沢大学に対する主な意見

- ・入試で学ぶ意欲や問題発見力、解決力、主体性を評価することをぜひ検討をお願いしたい。
- ・組織や制度がどんどん変わることは良いことだと思うが、私たちから見れば非常にわかり難い。学生達は良いかもしれないが、もう少しわかりやすければありがたい。5年、10年後と大学にとって厳しい中、石川県のランドマークとして世界中から学生が集まる大学を目指してほしい。
- ・グローバルも必要だが学際的なモノの見方がぬけている。総合総括できる能力が不可欠。
- ・基礎研究、応用研究、ビジネスに近いもの、それぞれのバランスも重要と思う。今の生徒の気持ちも考えた中で、また、大学の位置づけという事も考えてのバランスを決めて、示してほしい。

- ・SGUで授業を英語にしていこうとのことですが、その前に大学の様々な表記や、書類の英語版を準備しなくてはならないと思います。今、金大の中を歩いたり、生活をしていても、グローバルな雰囲気や留学生を受け入れよう、国際化しよう、という雰囲気を感じることは難しく思います。
- ・今後より一般の人（市民）が学べる場・教える場も広がっていただけたらと思います。専門知識や交流できる場になれば、学生達にとっても良いかと思います。
- ・開かれた大学というイメージ構築の為の発信に工夫されたら良いのでは、と思います。
- ・活動内容の学外発信が「ヘタクソ」すぎ。お金をかけてでもプロによるプロモーションが必要。
- ・交通手段に関し、車での登校において許可制であると思いますが、その許可自体がしっかり行われていないように思います。
- ・体育会系の部活動としては、国立大として全国入賞することは私立大が様々な中で、とても難しいことであり、入賞した際に、大学側から何かしらの形に対応いただけると学生等もより一層頑張れるのではないかと思います。（既に対応していただいているなら申し訳ありません。）
- ・人間社会の研究室で、空調の管理ができず大変。エアコンの取り付け希望との声を時折聞きます。また、便座が暖くなるタイプのトイレにしてもらえると大変ありがたい。
- ・石川県との関係は大切にしながらも、県の枠にとらわれず、北陸三県の学のリーダーとして、人材の輩出源として頑張っていただければと思います。
- ・近年その存在価値が問われている人文系の充実は喫緊の課題として取り組んでもらいたい。
- ・何を取っても中位大学。それはそれで素晴らしいのかもしれませんが、大学間競争においては埋没するリスクがある。やはり何かに秀でている（でた）大学を目指すべきである。





発行・編集 金沢大学総務部
〒920-1192 金沢市角間町 電話 076-264-5111